

クラブ活動報告

「けやき大通りを歩こう」ベンチ設置事業

和歌山東南ロータリークラブ
会長 小林一三

JR 和歌山駅から和歌山城大手門方面へ向かう（約 1.5km）幅員約 50 m の和歌山市を代表する
目抜き通り「けやき大通り」があります。

最近では、和歌山市の活性化プロジェクトの一つとして JR 和歌山駅から南海和歌山市駅までの
大通り沿いの街路樹にイルミネーションが行われているほか、海外、県外からの観光客も歩行による
和歌山城観光が増えてきております。

このような状況のなかで、地域の方、観光客が「『けやき大通り』の歩道」を歩いていても休憩
できるベンチがほとんどありませんでした。そこで、今年度の「社会奉仕事業」と和歌山東南ロータリー
クラブの創立「55周年記念事業」の一つとして、

和歌山県のけやき大通り歩道に 7 基、和歌山市の和歌山城ホール屋上に 3 基の計 10 基の「紀州材の
ベンチ」を設置し、和歌山県と和歌山市に寄贈いたしました。

この活動には、和歌山市の散策途中の休憩の場となり、自然の温もりを感じながら、子どもから
ご高齢の方まで、どなたでも気軽に腰を下ろしていただける存在であってほしい、そんな思いを込めて
おります。

